

		公表	事業所における自己評価総括表	
○事業所名	ぴゅあてい北			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の強みは、子ども一人ひとりに合わせた多様なプログラムを提供し、柔軟に対応できる点です。子どもの状態やペースに寄り添い、最適な支援を行えるように務めています。	複数の指導員が子どもたちの様子を確認し、支援方法を随時相談・見直すことで質の高いサポートを提供しています。	子ども一人ひとりの興味や課題に合わせた療育グッズを充実させていきたいと思います。
2	児童一人一人に合わせた支援を行っている。	子どもの状態を確認しながら、その時に合わせた支援を行っています。支援内容は児童発達支援管理者に相談しています。	子どもの状態を職員間でしっかり共有し、必要な療育を考えていきます。
3	長期休みの活動に力を入れており、子どもたちが様々な経験・体験を通じて社会性を学べるように支援しています。	子どもたちが楽しく取り組めるよう、現地の下見を行ったり、活動の内容に変化を取り入れ楽しく活動できるように工夫しています。	活動内容を事前に保護者の方に伝えて、詳細な対応方法などの共有を図りたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害対応等の緊急時マニュアルは整っており、訓練も行っているが、実際に災害が起こり緊急事態が発生した際に、よりスムーズに全従業員が対応できるよう周知と訓練を行っていくことが必要だと考えています。	緊急時マニュアルは情報量が多く、事故対応や災害時などの緊急事態の際、スムーズな対応ができない可能性がある。	全従業員が、より手順を分かりやすくするためにフローチャートの整備や、訓練が必要だと考えています。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	びゅあてい 北	公表日	2025年4月1日
------	---------	-----	-----------

		利用児童数					15人	回収数	5人(33%)
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				室内が広く幅広い活動を行っています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5				とても手厚く対応してくれるので助かっています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				室内が大きく二つに分かれているということで、勉強や運動など分けて集中できる環境だと思います。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				人数により、空気の入れ替えや消毒を行っていますと聞いています。建物も室内もきれいです。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				こちらが気づいていないようなことに気付いてくれたり、対応方法も親切に相談に乗ってくれたりと助かっています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				合っていると思います。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				びゅあていの中や送迎の際などに丁寧に説明してくれます。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				外活動や室内活動など色々なレクリエーションがあり工夫されていると思います。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5					他所との交流は、保護者の方のご要望をお伺いしながら検討します。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				施設見学の際丁寧に説明してくれました。	ありがとうございます。分からない事や不安な事がある場合はいつでもお尋ねください。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				職員の方が丁寧に説明してくれます。不安なときは相談に乗ってくれます。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				日頃から変わった様子があればすぐに教えてくださっています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				相談したいことを伝えと、日程も調整してくださるので助かっています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				子どもの事を理解した上で相談に乗ってくれます。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5					交流の機会などは保護者の方の意見を伺いながら検討します。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				相談・質問への対応はすぐにしてくださっています。	ありがとうございます。迅速に対応行えるように対応できるようにしていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5				ブログで活動の様子を拝見しています。 楽しみにしています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				配慮されていると思います。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5				避難訓練では色々な災害内容を考え訓練をおこなっています。訓練の様子も親切に教えてくれています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5				毎回内容が工夫されていると思います。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					保護者の方に十分な告知を心がけます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				ケガをした際はすぐに連絡がきてケガの写真を送ってくれたり、状況の説明してくれるので安心しています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5				びゅあていさんの利用日以外でも行きたいということがあります。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5				毎回とても楽しみにしています。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				満足しています。成長を実感しています。先生には相談しやすく話しやすいです。	ありがとうございます。これからもより良い事業所を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
びゅあてい 北		2025年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		特性やその時の利用人数等を考慮し、密になることの無いよう柔軟に環境設定しています。また、目的に合わせ部屋を分け活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11		定員数やこどもの特性に合わせた職員配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		活動スペースを分け、視界から適切に情報が得られるように掲示の量や配置を工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		毎日適切な掃除・消毒を行っている。床面をタイルカーペットに取り換え怪我防止につとめ、必要に応じて新品と交換している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		外部研修や合同研修を行っている。また毎日のミーティングや月に1回～2回会議を行い都度子供たちの状態に合わせ話し合いの場を積極的に作っている。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		評価表の結果をもとに、事業所内で話し合い業務改善につなげている。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		管理者との距離を適度に保ち、職員からの意見等把握に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11		第三者委員会などは設けていないが、関係者の方々からご意見をいただき改善に向け努めている。	第三者による外部評価を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		外部研修や合同研修を行っている。また、動画視聴などにより学びの場を設けている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		プログラム内容はホームページに掲載している。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		本人また保護者様の願い、兄弟間やご家庭での困りごとなどをアセスメントし計画作成につなげている。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		子どもたちのことに関して大事な事を共有できている。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		必要に応じて話し合い共有し支援に繋げている。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		多方面からのツールを用いてアセスメントを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		ご家族のニーズを踏まえ、個々の発達段階に合わせ支援内容の設定をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		立案・作成を複数の職員で行っている。	

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		季節の行事を取り入れ楽しく参加できるよう計画したり、利用児童の年齢や特性に応じ、環境や内容等を考慮し工夫している。また、職員間で意見交換を行いマンネリ化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		毎日、各活動の組み合わせや担当を考え計画・作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		毎日、送迎前に留意事項や活動内容の説明等を行っている。また担当や役割を決め支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		ミーティングやラインを活用した打ち合わせの時間を作っている。記録表の記入とともに、その日の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		細かな療育記録を徹底している。ファイルにまとめ職員間で常に共通認識をもち、適切な支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		半年毎にアセスメント・モニタリングを行い、計画の更新を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11		子ども達を尊重し、支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		子どもたちがやってみたい！挑戦してみたい！経験してみたい！と思っていることを実現できるように、子ども会議をレクに取り入れられたり、長期休みにはアンケートを行うなど、子どもとコミュニケーションを取りながら自己選択できる環境作りになるよう工夫している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		管理者・児童発達管理者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		学校や利用施設と連携を取り、情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		保護者様の同意のもと、書面での情報共有や訪問などによる支援会議を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	7		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	7		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11		地域の催し物に参加したり、他の地域の児童クラブと交流する機会を設けいている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	10		（自立支援）協議会等へ参加を検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎の際等、当日の出来事や子どもたちの状態をお伝えしている。また、保護者の方からお話がある時はお聞きして持ち帰るようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		定期的な研修やイベントの開催により職員との交流の機会を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約時に同意を得て説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		定期的な面談、及び日々の連絡や相談により保護者から聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		半年ごとの計画見直しの際、説明と同意を得た上で計画作成を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		送迎時、連絡ノート、LINE、面談等で相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている	7	4		今後保護者の方の要望をお伺いしながら検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		重要事項説明書に苦情の受付について記載している。初動は丁寧・迅速に行うように心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		長期休みの行事については事前におたよりでお知らせできるように心がけている。	HP等を活用した行事予定の発信について、今後検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		ブログ掲載時にはダブルチェックを行うよう徹底している。重要書類等についても厳重に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		LINEや連絡ノートを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		今後保護者の方の要望をお伺いしながら検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		各マニュアルを策定しており、避難場所、避難経路を保護者様にお伝えしている。避難訓練は地震・火災等各災害を想定して実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		避難訓練をレクリエーションに取り入れ、避難を想定した訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		面談時に健康面についてお伺いしている。必要時は診断書のコピーやお薬の情報をいただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		診断書のコピーをもとにアレルギー反応があった場合の対応方法を詳しく伺い、職員間で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		安全計画をもとに、安全を第一に考え支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		資料配布等によりご家族へ周知している。また指定避難場所及び、連絡方法確認を周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハット報告書を作成し職員間で常に共有し、再発防止につなげている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		研修会を定期的に開催し、職員の虐待への知識、理解を高めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		緊急性、一時性、非代替性の視点によりやむを得ない場合の対応については、計画に盛り込み、ご家族に説明と同意をいただいている。	